

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス プチ・アンジュ		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日		～ 2026年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21人(20世帯)	(回答者数) 21人(20世帯)
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童がのびのびと過ごせる十分なスペースがあり、運動をする人や勉強をする人、工作をする人がストレスなく自身のやりたい好きな事に集中出来る環境がある。 ・小学生から高校生までそれぞれが楽しめる住環境が整っている。	・常に整理整頓を心掛け、密にならないよう机の配置やパーティションで仕切って遊ぶ場と勉強をする場を確保している。 ・静養室があり、体調が悪い児童が身体を休めたり、クールダウン出来る部屋を完備している。	・利用児童が興奮しないよう落ち着く音楽をかけたり、自由時間はその子が集中して出来ることを促し見守っていく。 ・運動不足にならないよう館内で運動出来るスペースを確保していく。
2	・利用児童の人数に対して、職員の人数を8～9人配置しており、沢山の目を入れることにより児童間のトラブルや怪我を未然に防ぐことが出来ていて虐待防止にも繋がっている。	・それぞれの障害の特性に合わせ対応できるようにマンツーマンの時もあれば複数人と一緒に遊ぶ機会を作っている。 ・利用児童が楽しい気持ちになれるよう支援をしている。	・スタッフ同士の連携や情報交換を行い、特性に合わせた支援が出来るように配慮していく。 ・利用児童の自立に向けて、自分のことは自分で出来るように声掛けや促し、見守りを強化していく。
3	・送迎車4台を待機させ、利用児童を待たせることなくお迎えやご自宅への送りをスムーズに行っている。	・送迎車は清掃や消毒を常に行い清潔に保つことが出来ている。 ・送迎にミスがないよう家族様への前日確認や学校へ変更があれば当施設への連絡をしていただくようお願いしている。	・余裕を盛って送迎することにより家族様とのコミュニケーションがもっと取れるようになればと思う。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・専門性を持った支援員が少ないことからプログラムや学習支援の強化が出来ない。 ・外部からの講師に依頼すると高額な費用がかかるため家庭の事情からそういった費用を請求しにくい。	・昨今の人材不足により優秀な人材が入らず、現状をキープしていくのが精一杯である。 ・人件費も上がっており、書類の作成や雑用で子ども達と関わる時間も限られている。	・研修を行い、人材育成に力を入れそれぞれの従業員のスキルを上げてもらい支援に対する意識の向上を計ってもらう。
2			
3			